



地域おこし協力隊 八雲町見聞録 体験・活動レポート

熊石根崎神社例大祭へ 行ってきました

こんにちは協力隊の宮島です。今年のお盆も実家には帰らず、熊石へ行ってきました。8月13日から15日に開催された、根崎神社の例大祭へ参加させていただいたためです。13日の宵宮に始まり、14日、15日は猿田彦(天狗様)を先頭に神輿や山車が地域内を巡行しました。また、泊川地区にある北山神社の例大祭も行われ、泊川地区や折戸地区、相沼地区の山車が地域を練り歩き、熊石地域は大いに活気づきました。昨年以上に帰省客、見物客など人の数が多かったように感じました。

私は昨年同様、14日、15日の2日間、祭りに参加。今年もお神輿を引かせていただき、地域の方たちとともに地域内を巡りました。昨年お会いした方たちが覚えていてくれたことや、今年初めてお会いした方たちにもあたたかく迎えていただけたことが何よりうれしく、熊石地域での知り合いも増えたせいか、祭りに参加する楽しさは昨年以上のものがありました。

また、今年も札幌大谷大学の先生と学生さんが祭りに参加され、特に先生と男子学生さんとは一緒になって神輿を引いていました。宿泊でお世話になったお宅では、学生さん達や帰省されていた親戚の方たちと地域の食材をいただきながら、昔の熊石の姿や、現在の様子、食文化のことなど、色々お話を聞くことができました。

協力隊としての参加は今年で最後ですがまた来年も参加したい!と思えるような祭りです。



協力隊の「facebook」も見てください。今回の活動も掲載しています!

八雲町地域おこし協力隊

1945年8月15日 終戦の日から70年 戦没者への追悼、平和への祈り

八雲町では、昭和12年〜20年の終戦の日まで、621人(八雲地区323人、落部地区94人、熊石地区204人)の方が、戦争が原因で死亡しました。戦後70年目を迎え、町内各地で戦没者への追悼、平和への祈りを込めた行事が開催され、多くの人が参加しました。



応召風景(駅頭)昭和17年頃

※^{おしょう}応召とは、特に在郷軍人などが、召集に応じて軍務につくこと(呼び出しに応じる)

八雲町出身戦没者追悼ならびに平和記念式

戦後70年目を迎えた8月15日、八雲町出身戦没者追悼ならびに平和記念式がさらんべ公園平和記念の碑前、シルバープラザふれあいホールで行われました。遺族、関係者ら約140人が参列し、戦没者への追悼を行いました。式では、平和学習事

業の一環として、原爆が投下された広島市で「戦争の現実」を学んだ町内の中学生5人が、「平和の誓い」を述べました。参加者らは、正午のサイレンに合わせ黙とうを行い、戦没者への冥福、平和への祈りを込め祭壇に献花を行いました。

落部地区戦没者忠魂祭

7月20日、第20回落部地区戦没者忠魂祭(落部遺族会主催)が落部八幡宮境内の忠魂碑前において執り行われました。参列者ら約25人が戦没者英霊への玉串奉奠を行い、平和と安全な町づくりを誓い、祈りをささげました。

熊石地域戦没者慰霊祭

熊石地域戦没者慰霊祭が7月29日、八雲町ふれあい交流センターくまいし館で行われ、戦没者の遺族や来賓ら26人が参加し、戦争で犠牲になった人たちの冥福を祈りました。熊石遺族会手塚利昭会長、植杉俊克副町長により追悼の言葉が読み上げられた後、参加者全員が黙とうし、遺族が一人ずつ前に出て玉串を捧げました。

